

大分県情報サービス産業協会 平成16年度総会開催

記念講演

大分市長 釘宮 磐 氏

大分県情報サービス産業協会平成16年度通常総会が4月21日午後3時より、大分市ソフトパークの大分第二ソフィアプラザビル2階ソフィアホールで開催された。

はじめに司会の高野郷事務局長より総会の成立を報告。引き続き会則第19条により会長が議長となり総会議事に入り、第1号議案の平成15年度協会活動報告、委員会事業報告、収支決算および会計報告が承認された。続いて、第2号議案の平成16年度協会活動方針および事業計画決定の件、第3号議案の平成16年度収支予算決定の件がそれぞれ原案どおり承認された。

最後に会長より「会員による会員のための協会であり、会員各社の積極的な参加をいただきたい」との言葉で議事を終了した。

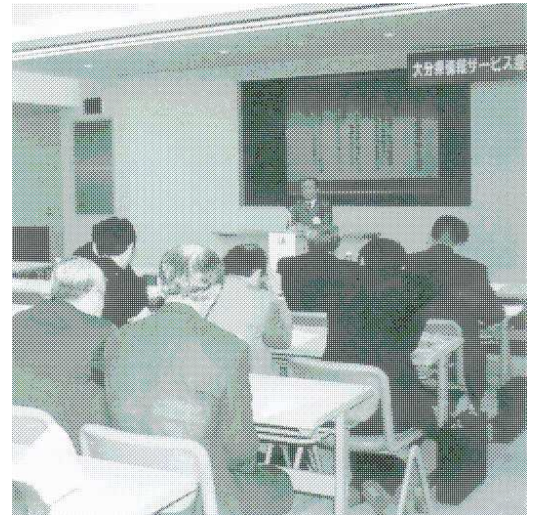
休憩の後、郷司潔会長が挨拶。「平成14年の情報サービス産業の全国売上高は14兆円、九州沖縄では福岡県が7割を占め、大分県は全国の0.2%である。ただ、将来見通しは業界のDI値をみると決して悪い環境ではなく、e-Japan構想や市町村合併などもあり、ユーザーズを的確に捉えることで業界の発展が期待できる。そのためには人材育成が重要であり、協会としても会員企業のソリューション能力の確保に努力して行きたい。」と述べた。

続いて、来賓の首藤文明大分県商工労働部審議監、西山市郎大分県中小企業団体中央会事務局長の2氏にご挨拶をいただいた。その後「分権社会を生き抜くために」をテーマに大分市長釘宮磐氏にご講演をいただいた。

総会終了後の懇親会では、講師と来賓の方々も交えて和やかな歓談の時を過ごした。



郷司会長挨拶



総会風景



首藤文明大分県商工労働部審議監挨拶



西山市郎大分県中小企業団体中央会事務局長挨拶

平成16年度収支予算（単位：千円）

科 目	平成16年度予算額	平成15年度決算額	増 減	
収入の部	会費等収入	2,245	2,145	100
	事業収入	7,000	7,593	△593
	JISA交付金	800	335	465
	事業外収入	2	2	0
	前年度繰越金	3,315	3,161	154
合 計	13,362	13,236	126	
支出の部	管理費	600	513	87
	総会費	250	129	121
	事業費	9,700	9,279	421
	予備費	120	0	120
	合 計	10,670	9,921	749
次期繰越金 (内積立)	2,692 (2,000)	3,315 (2,000)	△623 (0)	



懇親会風景

平成16年度 協会活動方針

1. 関係機関および関連団体との交流と連携を深めるとともに、行政のIT諸施策への貢献をめざす。
2. 委員会活動の充実を図り、高度情報化社会に対応する魅力ある事業を推進する。
3. 会員相互の情報交換と啓発活動を推進する。

総務委員会

委員長 宮本 直記
(メルハンコンピュータシステム(株) 取締役)
副委員長 戸澤 則道
(株)インテック大分センター 所長
事務局 上杉 勝
(九州東芝エンジニアリング(株) 部長)

1. 事業方針

- (1) 協会の事業力強化と活性化を図るための諸施策を推進する。
- (2) 会員相互の交流と親睦を図るための諸施策を推進する。

2. 事業計画

- (1) 次の協会定例行事を企画・開催する。
通常総会・講演会(4月)、ボウリング大会(8月)、ゴルフ大会(11月)、新年例会(1月)
- (2) 行政、情報産業団体との交流
協会行事を通じて、行政の政策担当者等との接触、交流を行う。
他団体との交流を図る。
- (3) 会員拡大
協会の体力強化のため、会員の協力を得て会員拡大をはかる。

企画委員会

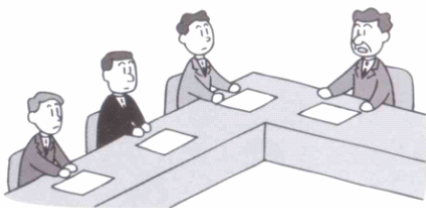
委員長 佐藤 誠樹
(株)エイビス 取締役部長
副委員長 安方 正秀
(太平工業(株) センター長)
事務局 山松 正樹
(大分交通(株) 課長)

1. 事業方針

協会活動方針に沿い委員会活動の充実と強化および会員相互の理解と協力をより一層深めることを目的とした委員会活動を展開する。

2. 事業計画

- (1) 先進地域ならびに先進企業への視察研修を実施する。(年間2回の実施)
- (2) 情報サービス産業事業者が抱えている事業ニーズの調査および情報の提供を行う。



イベント委員会

委員長 野尻 健
(大分中央電算(株) 取締役部長)
副委員長 中川 雅裕
(株)スリーエイシステム 部長
事務局 森崎 雄二
(ゴードービジネスマシン(株) 部長)

1. 事業方針

委員会活動を通じて当協会の存在を広く世間にアピールすることを主な方針とする。

- (1) 13年目を迎えるサウンズコンテストの充実を図る。
- (2) サウンズコンテストの開催に関し、マスコミやネットメディアなどへの積極的な働きかけを行う。
- (3) 教育機関等の諸団体へ積極的に働きかける。

2. 事業計画

- サウンズコンテストの開催
- (1) 作品募集や発表会での集客には、ITを利用するなどの工夫をする。
 - (2) 後援各社に作品募集や発表会時の報道を依頼する。
 - (3) 大分フットボールクラブとの連携を深め、夢のあるイベントとし、地域社会に貢献する。

研修委員会

委員長 首藤 勇
(コンピュータエンジニアリング(株)大分営業所 取締役副社長)
副委員長 田崎 方人
(鶴崎海陸運輸(株) 課長)
事務局 荒木みゆき
(新日鉄ソリューションズ(株))

1. 事業方針

- (1) 研修事業のあり方は協会会員企業の要望、必要性を十分に反映していく。
- (2) 協会活動方針に則り、開かれた協会活動に寄与する委員会活動を推進する。
- (3) 他委員会との合議を促進し、行政との連携も視野に活動の活性化を図る。

2. 事業計画

- 事業計画の具体化には会員企業の意見を反映し、ニーズの高い研修内容を企画する。
- (1) 県内企業の技術者向けに、専門あるいは先端技術に関する講座等を企画する。
 - (2) 行政と十分な協力体制をもとに、地域に開かれた研修活動を企画する。
 - (3) 会員の要望に応じた事業を企画する。

技術委員会

委員長 阿南 光洋
(三井造船システム技研(株)大分事務所 所長)
副委員長 佐藤 清孝
(株)ウィルウェイ 代表取締役)
副委員長 築城 久敏
(システムトレンド(株) 代表取締役)
事務局 伊達 慎二
(株)富士通大分ソフトウェアラボラトリ 課長)

1. 事業方針

協会活動方針に従い、下記に関する活動を企画・実施し、情報社会への貢献を目指す。

- (1) 最新技術動向に関する知識の普及
- (2) ITに関する技術の向上

2. 事業計画

- (1) 技術交流会の開催について
業界の最新技術動向について、産学官の先進的な研究成果やノウハウを持つ講師を招き、技術交流会を開催する。
- (2) 技術研究会の開催について
会員が抱える共通の技術問題や課題について技術研究会を開催する。
内容は、最新IT技術動向を十分意識し、これらの情報技術や開発方法等について研究し、成果発表会を行う。

広報委員会

委員長 筒井 健嗣
(KCS大分情報専門学校 校長)
副委員長 福田 耕三
(専修学校 総合技術工学院 部長)
事務局 高橋 良忠
(大銀コンピュータサービス(株) 取締役)

1. 事業方針

協会活動の内外への広報やリクルート情報活動等を主体にした事業を展開し、当協会全体の活性化を図る。

2. 事業計画

- (1) OISAニュースの発行
 - ① 年間3回を原則として、協会活動および情報等の発信をする。
 - ② 会員各社の有料広告をベースに、OISAニュースの安定的発行を図る。
- (2) 部外広報
 - ① OISAホームページを部外広報のもう一本の柱と位置づけ、メンテナンスを行う。(各委員会のページを除く。)
 - ② OISAニュースをホームページに掲載する。
- (3) 新卒採用対策、Uターン対策
 - ① 行政諸機関等へのOISAニュース配布依頼。
 - ② 必要に応じてOISAニュースを利用した会員企業の紹介などを行う。

夢と冒険心を胸に……



鶴崎海陸運輸株式会社

本社/大分市大字三佐1000 ☎(097)521-6111 <http://www.tsurukai.co.jp>

エスティケイテクノロジー(株)・鶴海運輸(株)・西ノ洲環境(株)・ナカノス建設工業(株)
株)ホックス・鶴見興産(株)・大分マリンサービス(株)

平成16年度通常総会記念講演

日時：平成16年4月21日(水)
午後4時より

場所：第2ソフィアプラザビル2階
講師：大分市長 釘宮 馨 氏
演題：分権社会を生き抜くために

【埠啄の機】

12年間国政に携わってきて、外から一生懸命叩いても卵が割れない、どうも内側からも叩いていかないや駄目じゃないのか。国と地方の関係において、国が変われなかったことで地方が大変なことになっている。国に任せていたら地方は完全に潰されてしまう、あえて地方から変革の波を作らなければいけない、という思いで昨年決断をしました。いま置かれている行政の状況を考えた時、高度成長からバブルの崩壊でいわばギアチェンジをしないとイケない時であり、シフトダウンをする機を逸してしまった中央を見た時に、まさに地方で今までできなかったことをぴしっと問題意識を持ってやる、そして結果を出す。これからそういう意識を一番身近な行政の中で、市民の皆さんや県民の皆さんが、あっ、これなんだということがわかった時がまさに埠啄の機、地方がわからない国になんとかしろよと内側から親鳥をつついてやる、そういう信号を送ることができるのではないか。これが私の地方へのあえての転身だったわけです。

【三位一体改革】

国は、本来税金を地方と国とそれぞれやるべき仕事に対して按分して徴収すべきだったが、そうさせなかった。国が7割を集める。しかし地方が使う財源は7割。それで国が7割集めて地方に4割を配分してきた。これが戦後の政治なんです。これは間違いなくうまくいったんですが、バブルの崩壊以降、この制度が逆にその後の日本の道を誤らせたんで

すね。税収がどんどん減少し、ここ10年近くは国の予算は82兆円前後ですが、税収が2分の1。40兆円前後です。あとは全部借金です。

こういう状況にもかかわらず、あいも変わらず7割集めた形にして4割を配分していった。それで今や国は破産状態です。少なくとも500兆。さらに国は公共事業をどんどんばらまきますから、地方は受けざるを得ない。国が4分の3補助するといっても地方が4分の1を負担。当然地方はお金がありませんから借金を重ねさせた。この結果、国が500兆、地方が240兆、合わせて740兆、これは完全に破綻状態です。そういう状況の中で、様々な歪みが出てきている。そこで政府は何をやったかという、7割集めたといっても半分しか集まらないから国はもう面倒見切れない。だから税源は地方に渡してしまおう。地方は7、国は3でいいじゃないか、という議論のもとに国は4割を配分してきた地方交付税と補助金を減らしていこう。最終的には税源も委譲してしまおう。これが三位一体改革です。

平成16年度に限っていえば、国は交付税をドーンと削減しました。補助金も1兆円削減しました。そのことによって地方は、大分市だけのベースで考えると、国から減らされたのが、30億、税源委譲は7億3千万しかない。要するに大分市ですら24億円の歳入減、国は大変な付けを地方に回してこようとしているわけです。もう国に対していろいろ言っただけしょうがない。もう国には金がないんですから。我々は与えられた財源でこれからの市政をやって行かざるをえない。判りました、やりましょう。

という話で、私の市政はスタートしなければいけないと考えている。

【意識改革】

この1年、とにかく職員に徹底した意識改

革を求めた。我々は与えられた財源や権限を使って、この大分市を自己責任でやっていかなければならない。要するに自治体経営でやらなければならない。親方日の丸はだめだよ、ということは今徹底しています。ですから、費用対効果、コストの問題、これは民間と同じレベルで考えなければならない。でも、長年親方日の丸、ぬるま湯の中に浸ってきたんですから、簡単には変わらない。そこで、私は何を始めたかという、財政状況を全部オープンにする。大分市は2,000億の借金がある。一般会計予算が1,450億ですから、大分市もご多分に洩れずもう破綻状態に近い。しかし、そういうことは職員はまったく意識がない。はっきり言って市民はもっとありません。私は全部オープンにします。これからは職員の意識改革ということを私は特に強く指摘をしながら進めてまいりましたが、市民に対しても職員に対しても、もっともっと知らせていくことが大事だと思っています。

役所の仕事がスピーディーにならないのは競争原理がないからであり、地方が自立してやることになれば、それぞれの自治体の努力が大きな差になってきます。分権はわれわれが勝ちとっていくもので、国が捨てたものを拾ってくることはありません。

市役所の尺度と市民の皆さんの尺度を同じにしなければ行政は生き残れません。



高野 郷 前事務局長挨拶

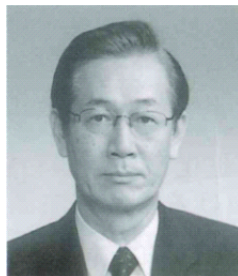
この度、OISAの事務局長を徳重英仁氏と交代いたしました。

平成15年6月より事務局を担当させていただき、1年の短い期間でありましたが、会員の皆様には多くのご支援、ご指導をいただき厚く感謝申し上げます。

協会役員の方々のご指導や委員会活動への参加を通じ、情報産業の世界をつぶさに見ることができましたし、会員の皆様の熱心な活動ぶりを拝見するなかで、私自身大いに励まされました。

事務局は交代しましたが、今後とも協会活動には参加させていただこうと思っておりますので、よろしくご協力申し上げます。

末筆ながら、OISAの一層の発展と会員の皆様のますますのご隆盛をお祈りいたします。



徳重 英仁 新事務局長紹介

【会社】

株式会社オーイーシー

取締役経営企画部長 徳重 英仁

【略歴】

昭和28年11月大分市生まれ。

昭和52年4月大分電子計算センター、(現オーイーシー)入社、平成16年1月より現職。

【ご挨拶】

6月より当社の高野の後を受けましてOISAの事務局を担当することになりました。これまでは会員企業のメンバーとしての立場でしたが、今後は内部からOISAの活動に携わることになり決意を新たにしています。不慣れな点も多々ありご迷惑をおかけすると思いますが、皆様のご協力をいただきスムーズな協会運営を行っていきたく思います。

今後とも何卒よろしくご協力いたします。



地形の達人

<http://www.nikken-c.jp>

達人技 Menu

- その一：GIS 【GISコンサルティング】
- その二：魅せる 【3次元モデル制作】
- その三：描く 【2次元地形図作成】
- その四：測る 【測量・補償調査】
- その五：創る 【土木設計】

株式会社 日建コンサルタント

第13回サウンスコンテスト作品募集

■編集部門

- オリジナル曲部門
- 編曲部門
- 特別募集部門：大分トリニータ応援歌
(編曲・オリジナル曲)

それぞれシーケンスソフトウェア(シーケンサー)等を使用した「打ち込み」によって作られたインストルメンタル曲

■応募方法

応募用紙に必要事項を記入し作品の入ったメディアを同封のうえ、下記までお送りください。

応募用紙は当協会加盟各社の窓口または公式WebからPDFファイルをダウンロードしたものをご利用ください。

■応募先

〒870-0952 大分県大分市下郡北1-2-12
ゴードービジネスマシン株式会社
サウンスコンテスト事務局 担当 小野宛
TEL 097-568-4600 FAX 097-569-0121

■応募に当たっての注意事項

- 打ち込みに使用する機材は原則としてDTMシステムを中核とするパソコンベースのものです。他のデジタルツールを利用して作られたものでも構いません。
- 複数応募も可能です。

●応募作品は3, 4分を目安にまとめてください。

●応募に使用するメディアはCD-R, MDのいずれか、データ応募の際は汎用SMFまたはMP3ファイルを納めたCD-R/MOをお送りください。

Eメール添付による応募は、事前にお問い合わせください。

●応募作品は、返却されません。

●応募作品の著作権は制作者に帰属します。応募曲に既存曲等のサンプルを使用する際は著作権関係にご注意ください。

何らかの権利侵害が発生した場合、当コンテスト側では、一切責任を負いません。

■賞金・賞品

グランプリには賞金と副賞が授与されます。また、グランプリ以外にも各賞があり、豪華賞品を用意しています。

■応募締め切り

平成16年12月末日必着



新入会員紹介

今後ともよろしくお願ひします。

(有)オール人材活用センター

代表者 佐藤 隆己

事業内容：コンピュータソフトウェア開発、販売および技術者派遣事業、アウトソーシング(労働者派遣事業)、その他(UPS、AVR、パソコン等の販売)

従業員数：約60名

所在地：大分市北下郡11-12

MOYOビル301号

TEL(097)567-8831

FAX(097)567-8865

所属：研修委員会



(有)DINGS(ディンクス)

代表者 葉真寺 睦朗

事業内容：データエントリ業務

従業員数：4名

所在地：大分市畑中908-5

TEL(097)545-3782

FAX(097)545-3784

所属：総務委員会



フレッシュさん紹介 今後ともよろしくお願ひいたします。

(株)システム トレンド

ソリューションシステム部

佐藤 由英

趣味：柔道・食べ歩き

好きな言葉：正論



コンピュータ
エンジニアリング(株)
第二ソリューション

システム開発課

木崎 智浩

趣味：釣り・天体観測

好きな言葉：チャレンジ



アソシエント・
テクノロジー(株)

大分ソリューションセンター

松本 優一

趣味：釣り

好きな言葉：一所懸命



面接で「企業の目的は?」「社員の目的、役割は?」との質問に、何とか答えられましたが、結構知らない人がいると聞きました。毎日、諸先輩方に叱咤激励されながら、技術者に必要なスキル、仕事の進め方や解決方法を学んでいます。徐々に身に付いて、仕事がより楽しくなってきました。我が社が、技術者に要求する「スピード」「展開力」「コミュニケーション力」「学習能力」「モラル」の5つの心得の実践を意識し、今後、積極的に資格を取り、将来的には多様な分野で活躍できるSEになりたいと思っています。

私は、コンピュータエンジニアリングに入社してまだ半年経たない新人です。情報処理関連の仕事になるので毎日パソコンと向き合っている業務が中心となります。私は、主にシステム開発をしていますが、新人ということもありプログラムを組むのに苦労しています。しかし、その中で学んだことは、着実に自分の力にできるようになっています。これからは早くプログラムを組める一流の技術者を目指し、コンピュータエンジニアリングを盛り上げていきたいと思っています。

鹿児島生まれ、鹿児島育ちの松本です。社会人としてはもう7年生(?)ですが、アソシエントでは入社したばかりの1年生です。

現在、Java関連の開発案件に従事しています。前職でも開発業務を行っていましたが、日々進化していくIT技術についていけるよう、業務終了後、勉強に追われる毎日を送っています。どんどん入ってくる後輩達に負けないよう、これからも頑張っていきます。どうぞよろしくお願ひします。

新任者紹介

(株)大分交通

情報通信営業部 システム開発一課

課長 山松 正樹

TEL(097)532-5949

FAX(097)532-5953



企画委員会事務局を担当させていただくこととなりました山松です。各会員様が参加したくなるような、視察旅行を企画していきたいと考えています。前任の上杉同様、よろしくお願ひいたします。

OISA News

2004. 7. 23発行

発行：大分県情報サービス産業協会
会長 郷司 潔

http://www.oisa.jp/

編集：広報委員会

事務局：大分市城崎町2-6-31

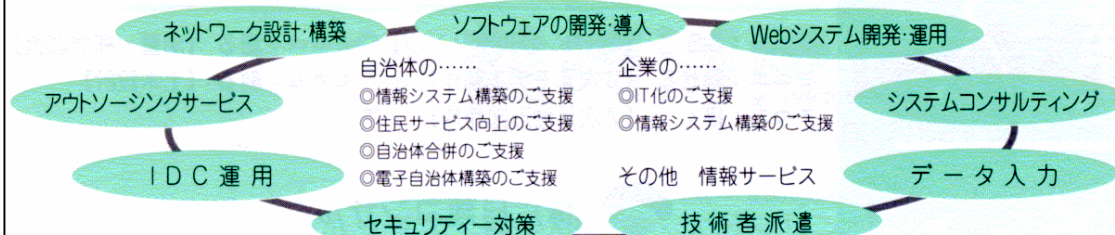
(大銀コンピュータサービス(株)内)

TEL(097)537-5918

FAX(097)534-4545

印刷：佐伯印刷株式会社

安心・安全な情報システムをご提案するオーイーシー



OEC 株式会社 オーイーシー

〒870-0037 大分市東春日町17番57
TEL. 097-537-1212 FAX. 097-537-2694
URL http://www.oec.co.jp